

2017年度 第2四半期決算説明会

第94期:第2四半期累計期間(2017年4月1日～2017年9月30日)

2017年11月8日

1. 会社概要
2. 2017年度第2四半期業績実績
3. 2017年度業績予想
4. 新中期経営計画(2018年度～2020年度)

本資料取り扱い上の注意点

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点における情報に基づき判断したものであり、日本および海外の経済情勢や当社の関連する業界動向、為替変動等にかかわるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予想と大幅に異なる可能性があります。



太平洋互業株式会社

1-1 当社の主な事業

プレス製品



■ハイブリッドバッテリーケース



■センターピラー



■ラゲージヒンジ



■オイルパン



■フロントサイドメンバー



■キャリアプレート

樹脂製品



■センターオーナメント



■ホイールキャップ



■アクセルペダル



■エンジンカバー

バルブ製品



■バルブコア



■チューブレスバルブ



■リリーフバルブ



■チャージバルブ



TPMS製品



■送信機

1-2 グループ会社の概要

★は新会社

国内8工場、海外子会社6カ国13社で事業展開
 (他、国内子会社2社、持分法適用会社1社)

JCR格付
 A-(安定的)

プレス・樹脂製品事業

バルブ製品事業

その他

個別

中部	西大垣工場	北大垣工場
	東大垣工場	美濃工場
	養老工場	
九州	九州工場	
東北	栗原工場	
	若柳工場	

連結

台湾	太平洋汽門工業股份有限公司
タイ	Pacific Industries (Thailand) Co., Ltd
米国	Pacific Manufacturing Ohio, Inc.
	Pacific Manufacturing Tennessee, Inc.

国内連結子会社
ピーアイシステム(株)
持株会社等
Pacific Industries USA Inc.
太平洋工業(中国)投資有限公司

中国	天津太平洋汽車部件有限公司
	長沙太平洋半谷汽車部件有限公司
国内	太平洋産業株式会社

韓国	太平洋バルブ工業株式会社
	太平洋エアコントロール工業株式会社
中国	太平洋汽車部件科技(常熟)有限公司

★タイ	Pacific Auto Parts (Thailand) Co., Ltd
-----	--

ベルギー	Pacific Industries Europe NV/SA
------	---------------------------------

日本(持分法適用会社)
PECホールディングス株式会社

1-3 コーポレート・ガバナンス

経営の効率性・公正性・透明性を上げ、企業価値を向上

- コーポレート・ガバナンス
- ・CGコード全73項目遵守

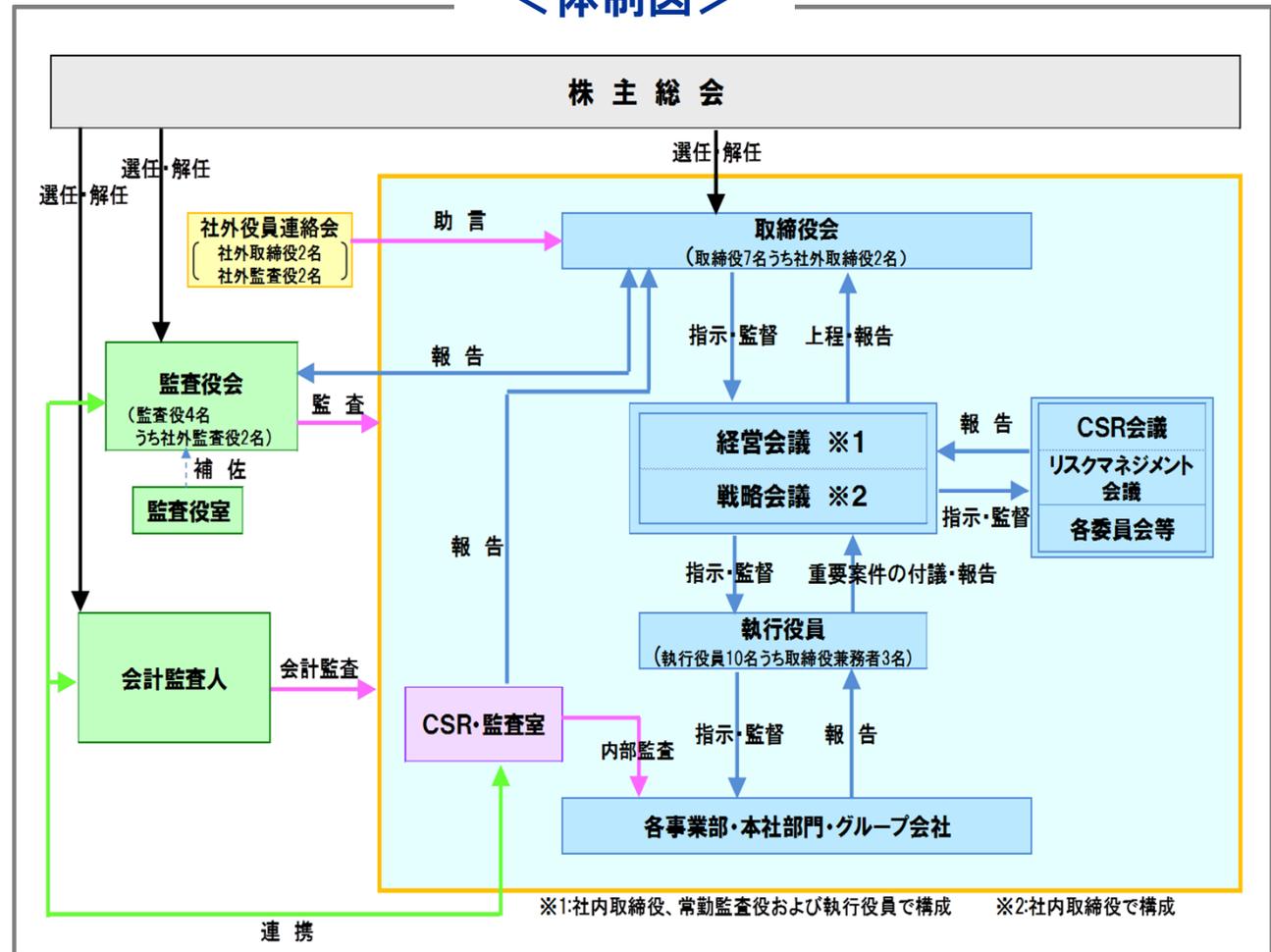
■内部統制

- ・グループ全社の内部統制強化
- ・監査役と内部監査部門が連携し適正確保
- ・社外役員と適時適切な意見交換、情報共有

■リスク管理

- ・全社リスク低減活動推進
- ・独立相談窓口設置
- ・情報セキュリティ強化

<体制図>

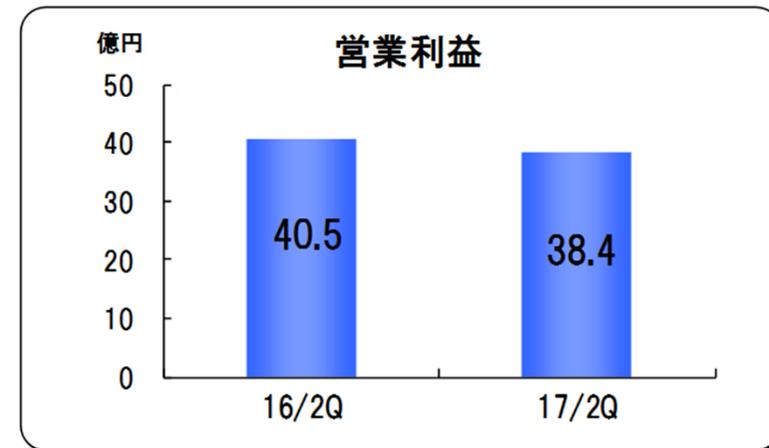
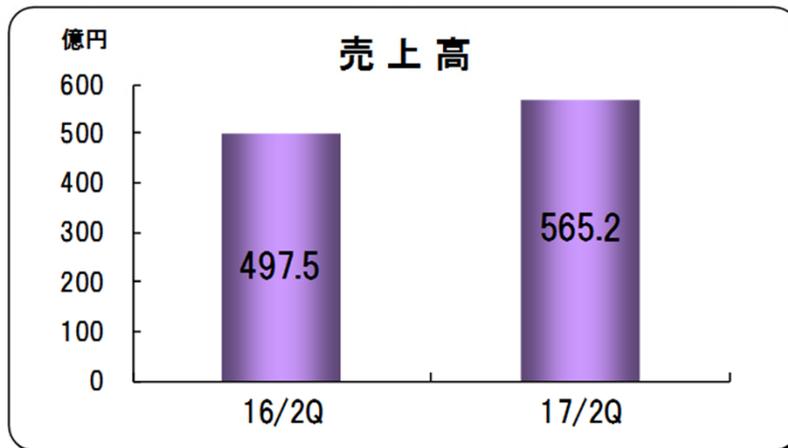


2-1 第2Q 連結業績

売上高・経常利益・四半期純利益が過去最高

(百万円、%)

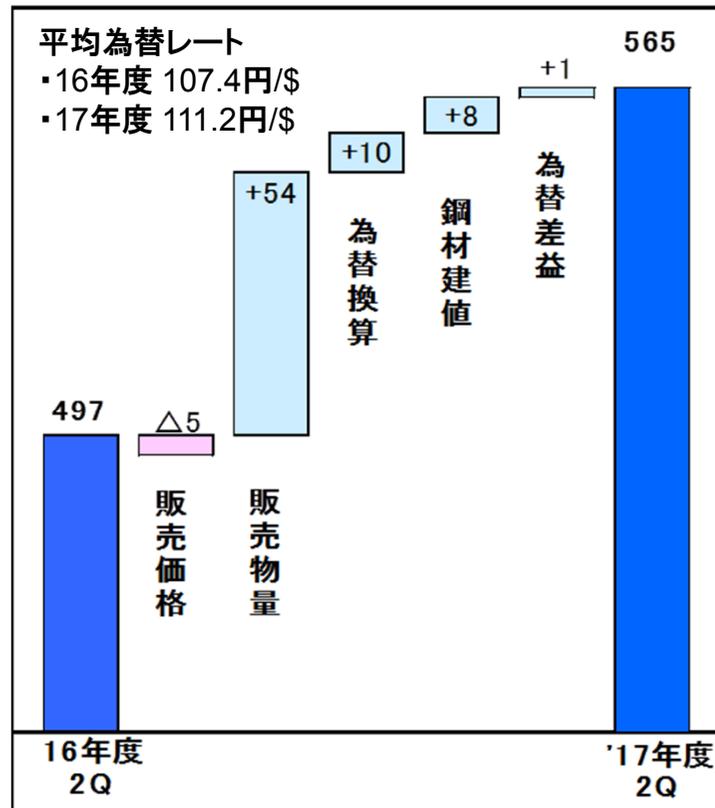
	前第2 四半期	第2四半期				前年同期比		第2四半期累計
		4/27 前回予想値	実績	前回予想比		増減	増減率	
				増減	増減率			
売上高	49,754	53,000	56,528	3,528	+6.7	6,773	+13.6	2期振りの増収 過去最高
営業利益	4,056 8.2%	3,500 6.6%	3,846 6.8%	346	+9.9	△209	△5.2	6期振りの減益
経常利益	4,035 8.1%	4,000 7.5%	4,744 8.4%	744	+18.6	709	+17.6	2期振りの増益 過去最高
四半期純利益	3,094 6.2%	2,800 5.3%	3,405 6.0%	605	+21.6	311	+10.1	2期振りの増益 過去最高



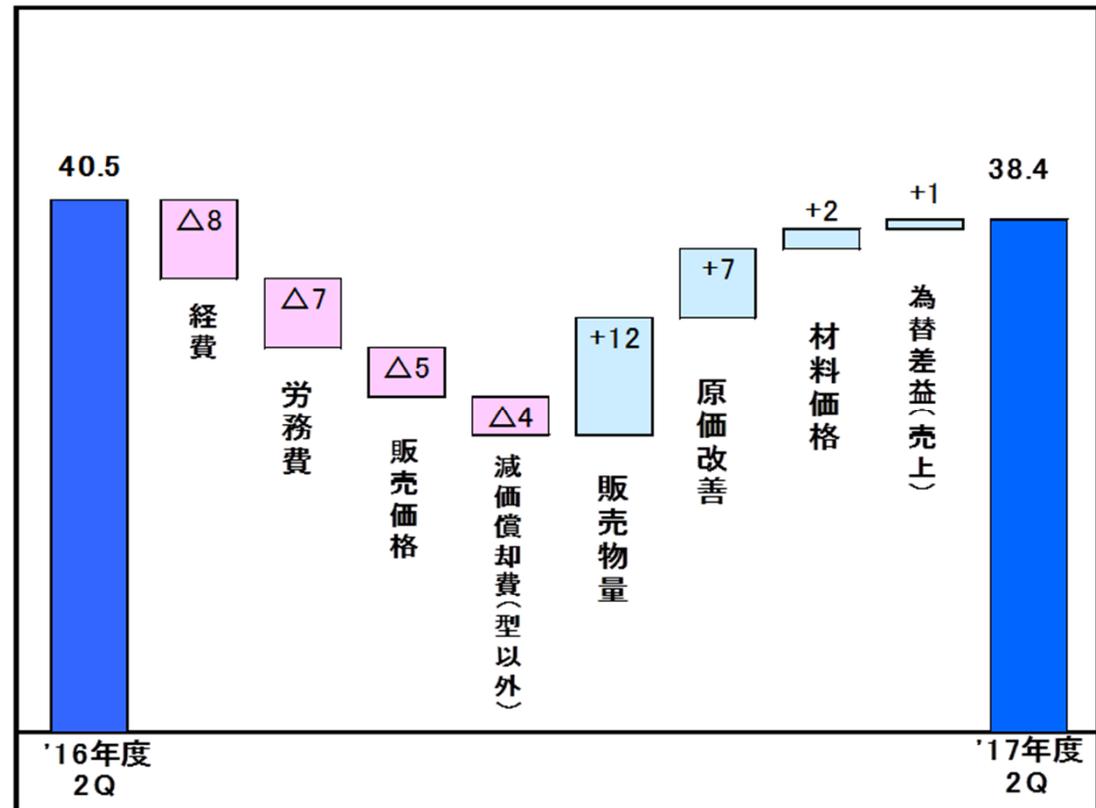
2-2 第2Q 連結利益増減要因

売上高は増収となるが、営業利益は若干の減益

《17年度2Q 対 16年度2Q》
売上高+68億円

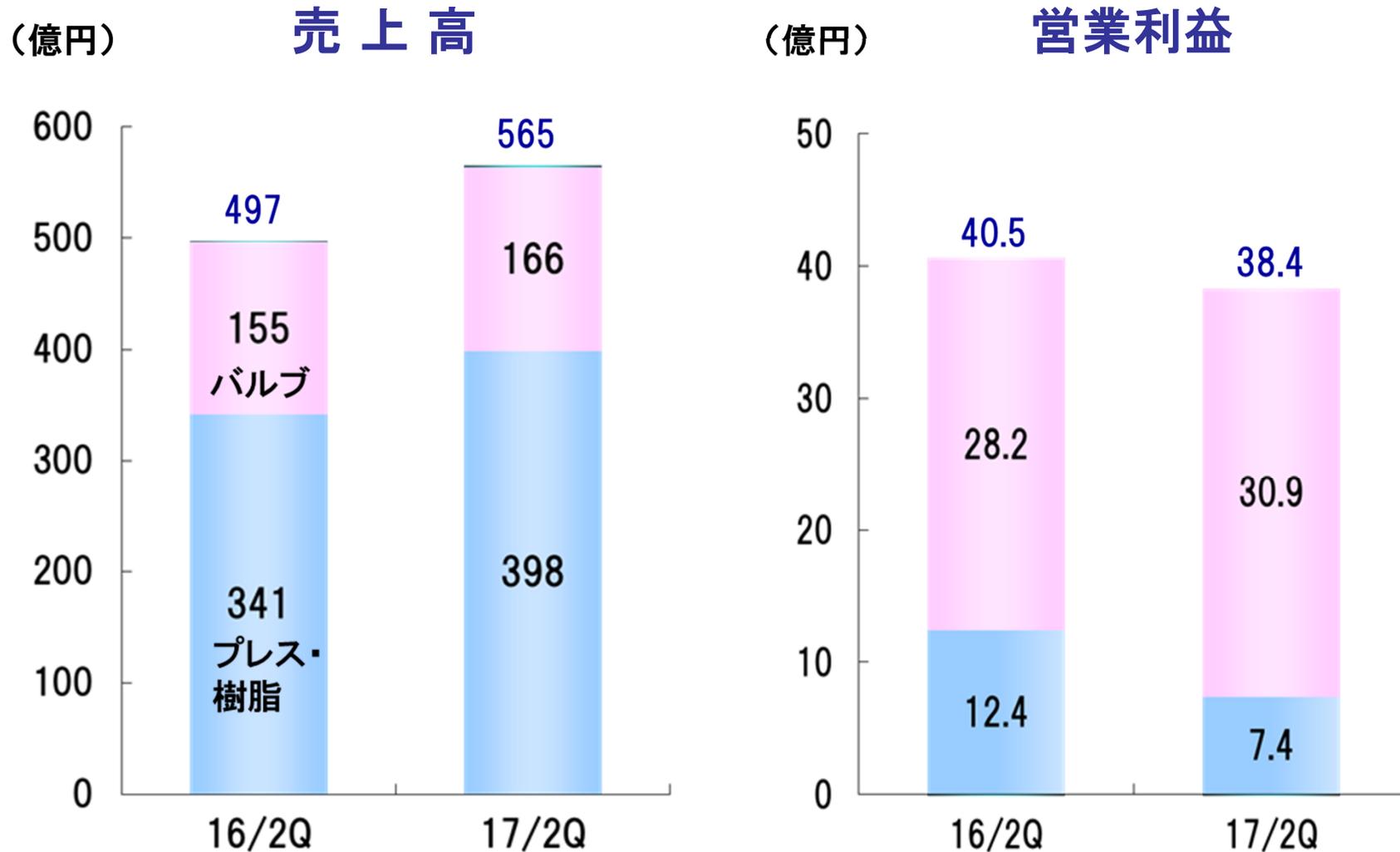


《17年度2Q 対 16年度2Q》
営業利益△2億円



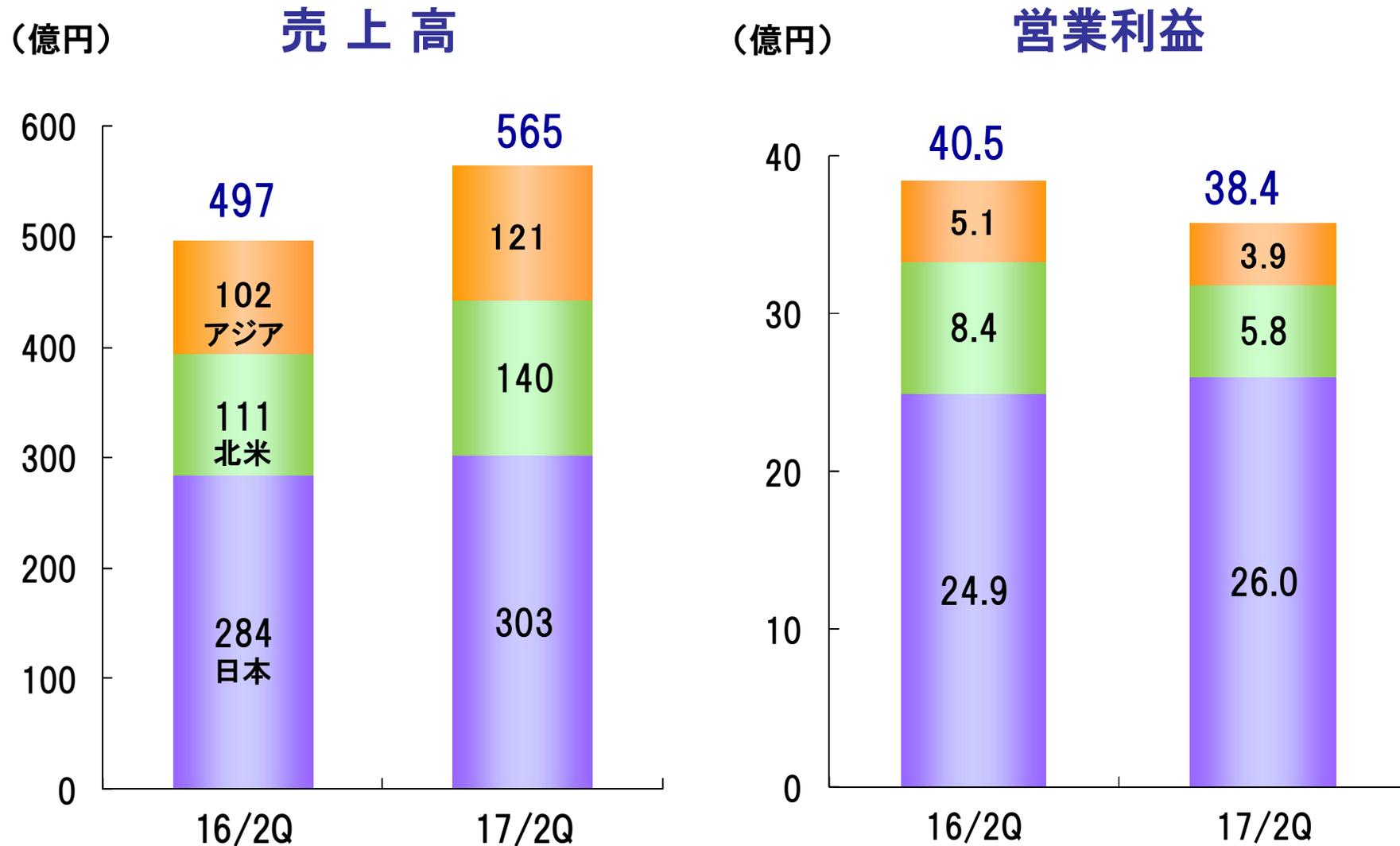
2-3 第2Q 連結事業別セグメント

プレス樹脂事業は増収減益、バルブ事業は増収増益



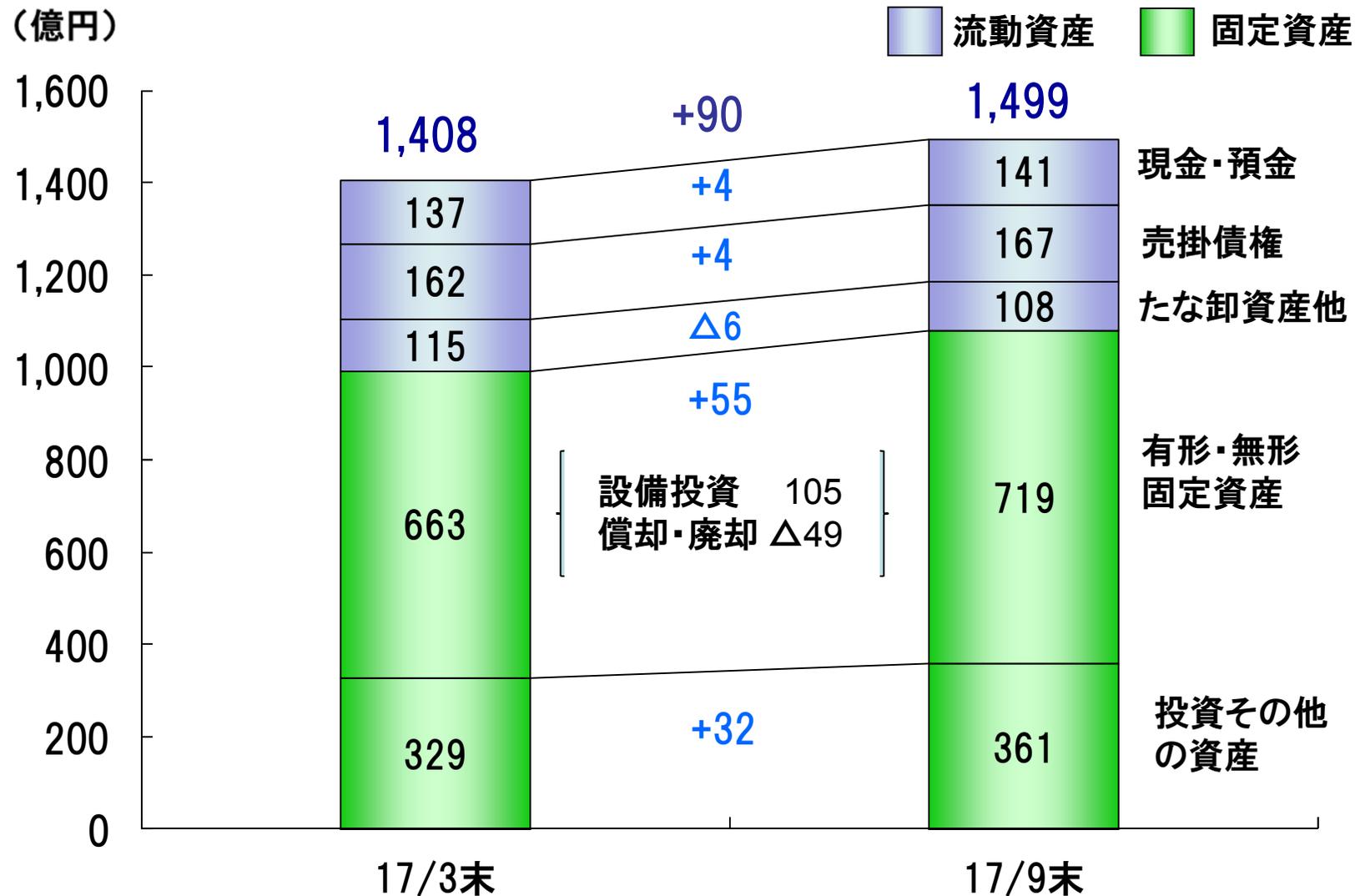
2-4 第2Q 連結地域別セグメント

日本は増収増益、北米・アジアは増収減益



2-5 第2Q 連結総資産増減内訳

戦略的な設備投資により有形固定資産が増加



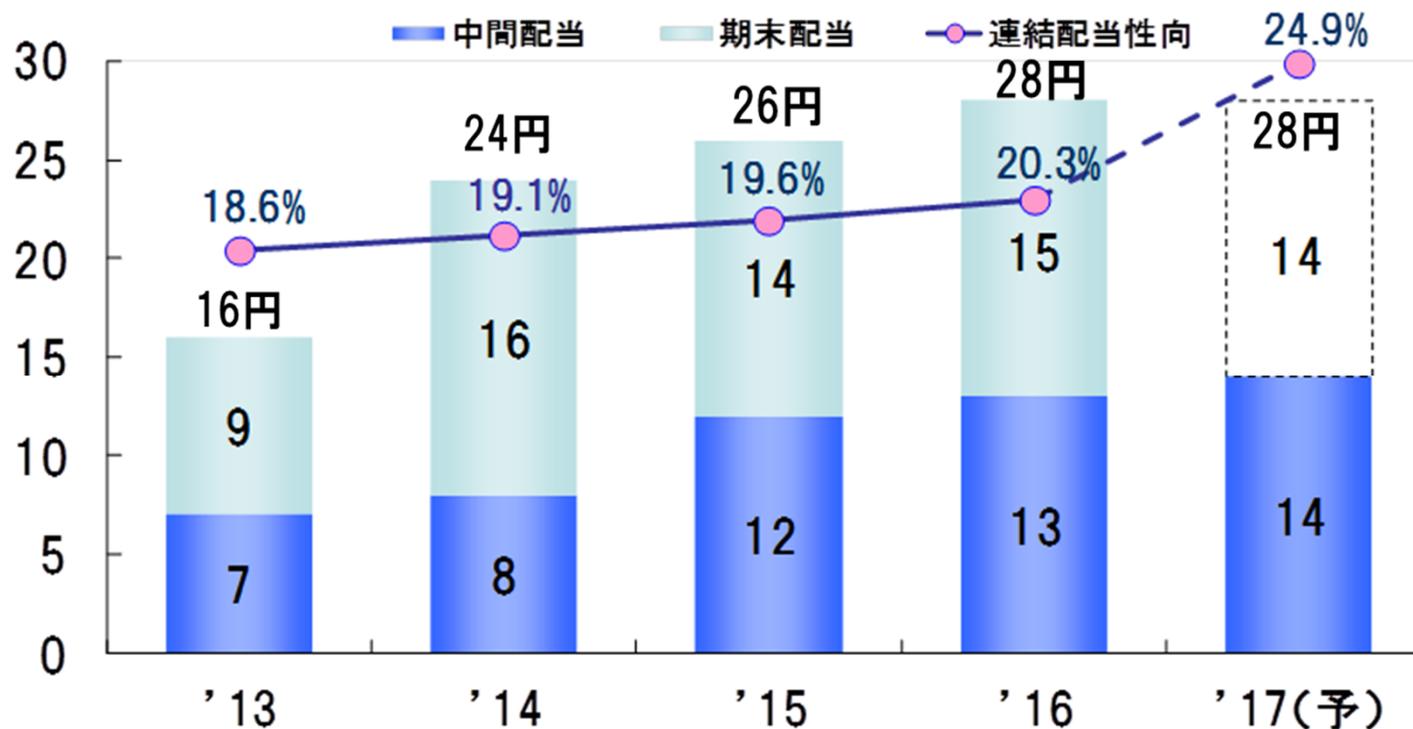
2-6 株主還元

中間配当金は1円増配、年間配当は前期同額

■年間配当

2016年度 年間:28円(中間:13円 期末:15円)

2017年度予想 年間:28円(中間:14円 期末:14円)

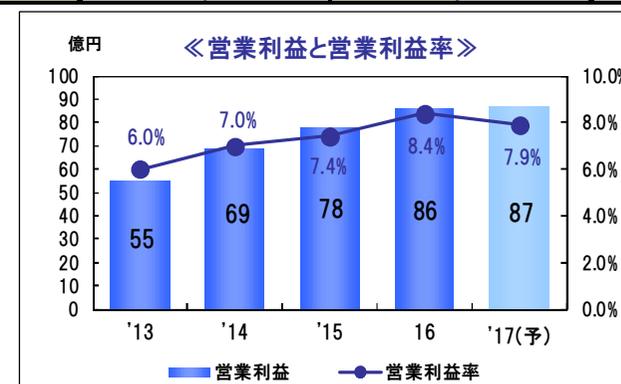
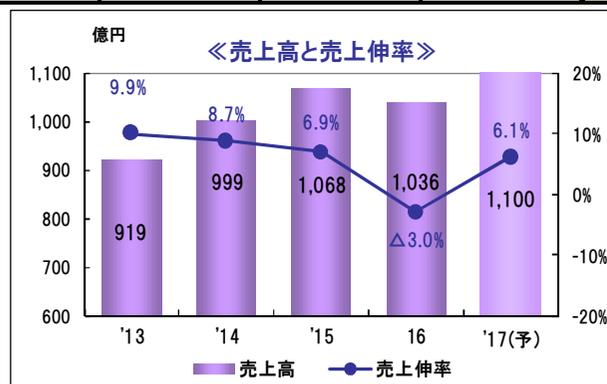


3-1 通期 連結業績予想

通期予想は据置き、売上高・営業利益が過去最高

[百万円]

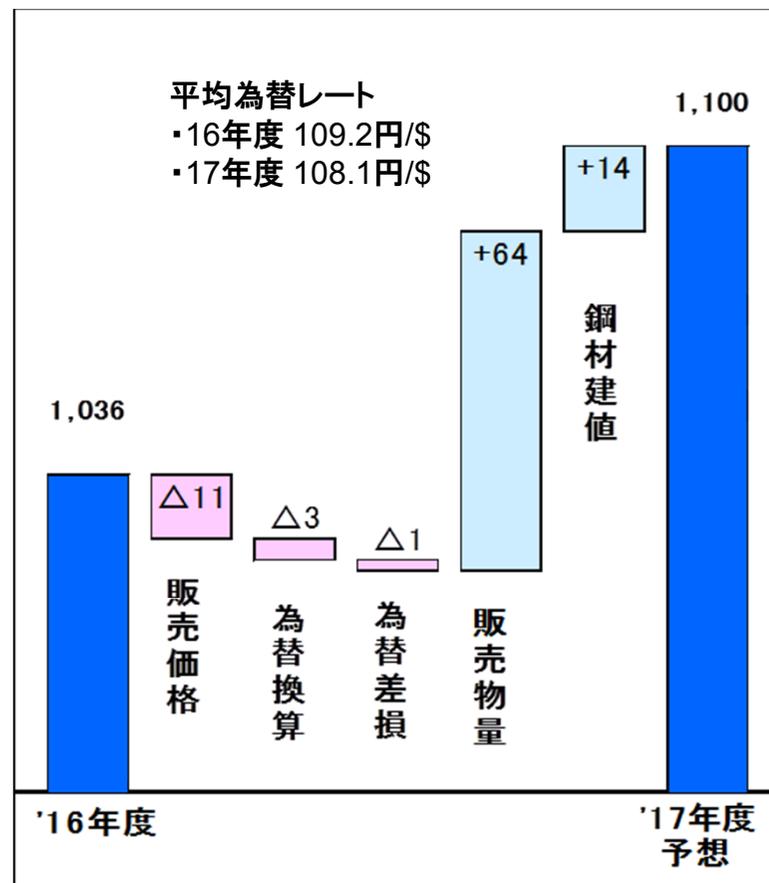
	'15	'16	'17 (4/27予想)	'17 (今回予想)	前回予想比		前期比		通期(予想)
					増減	増減率	増減	増減率	
売上高	106,886	103,669	110,000	110,000	0	0.0%	6,331	6.1%	2期振りの増収 過去最高
営業利益	7,869	8,662	8,700	8,700	0	0.0%	38	0.4%	6期連続増益 過去最高
経常利益	9,013	9,957	9,500	9,500	0	0.0%	△457	△4.6%	6期振りの減益
当期純利益	7,114	7,524	6,700	6,700	0	0.0%	△824	△11.0%	5期振りの減益
売上利益率	7.4%	8.4%	7.9%	7.9%	0.0%	/	△0.5%	/	/
ROE	9.7%	9.7%	7.8%	7.7%	△0.1%	/	△2.0%	/	/
ROA (営業利益ベース)	6.0%	6.4%	5.9%	5.9%	0.0%	/	△0.5%	/	/
一株当り 純資産	1,339	1,404	1,488	1,506	18	1.2%	102	7.3%	/



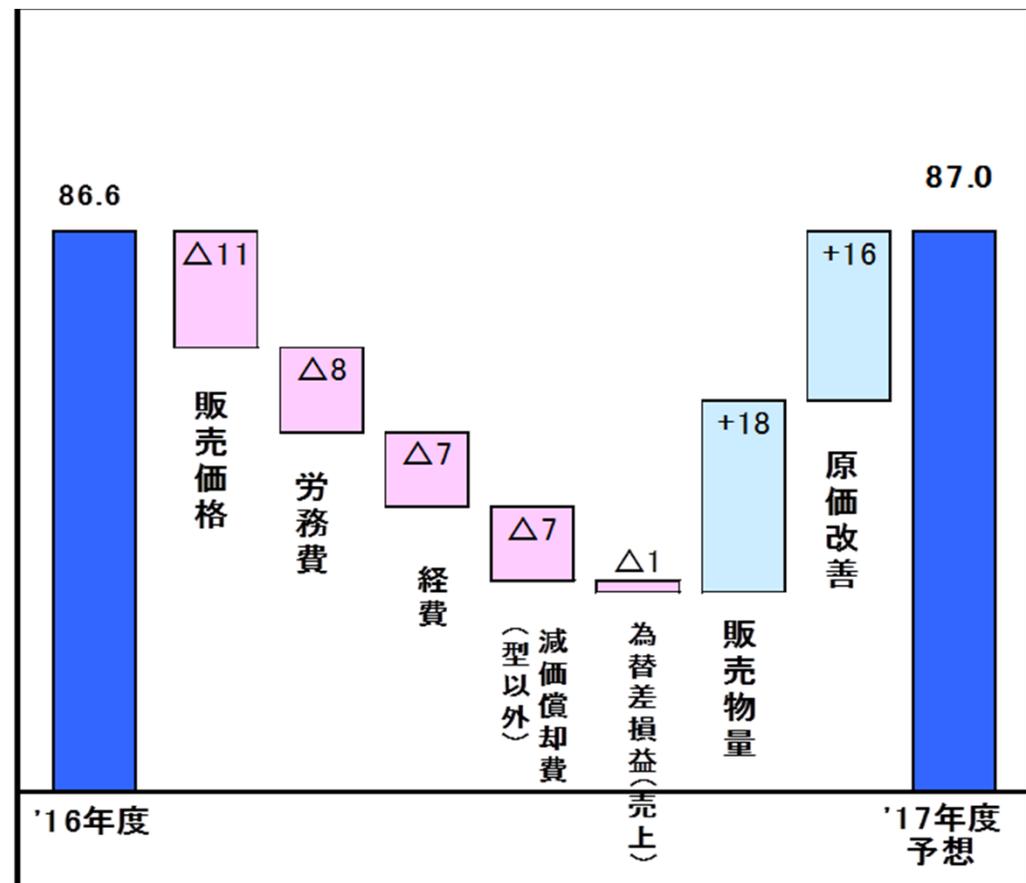
3-2 通期 連結 営業利益増減要因

売上高は新製品増により増収、営業利益は横ばいを予想

《17年度予想 対 16年度》
売上+63億円

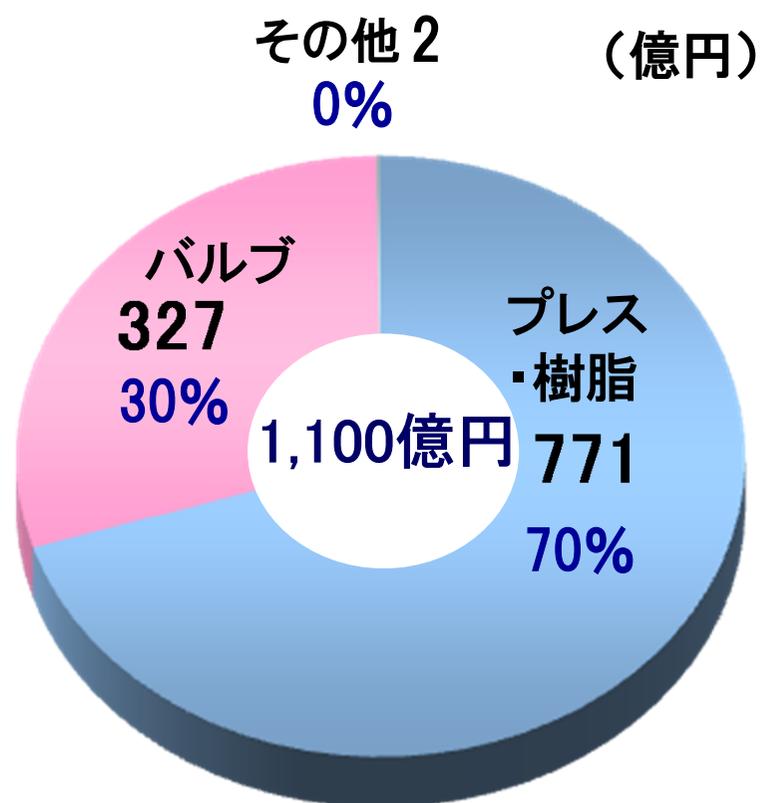


《17年度予想 対 16年度》
営業利益±0億円

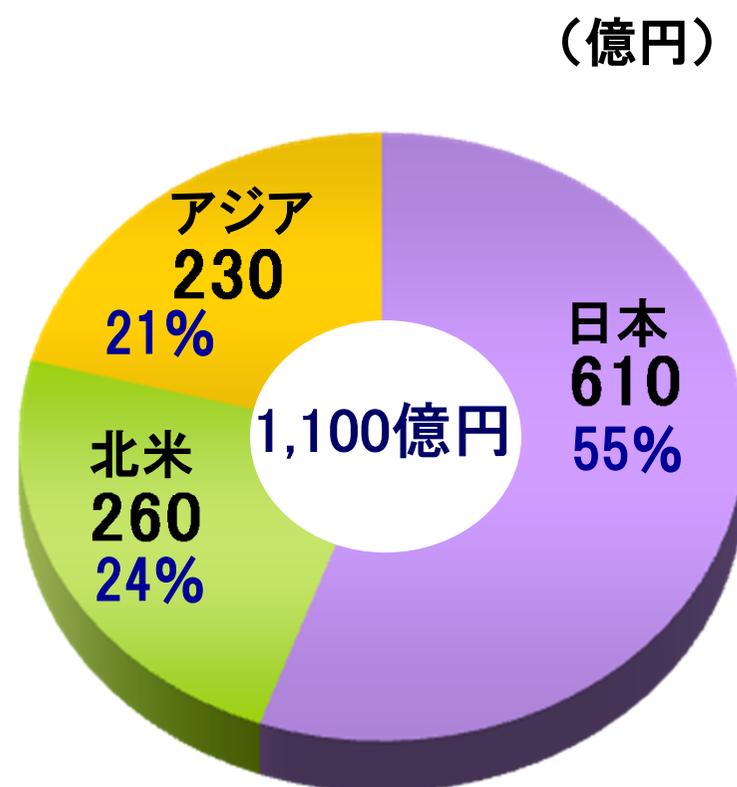


3-3 2017年度連結セグメント予想

事業別売上高

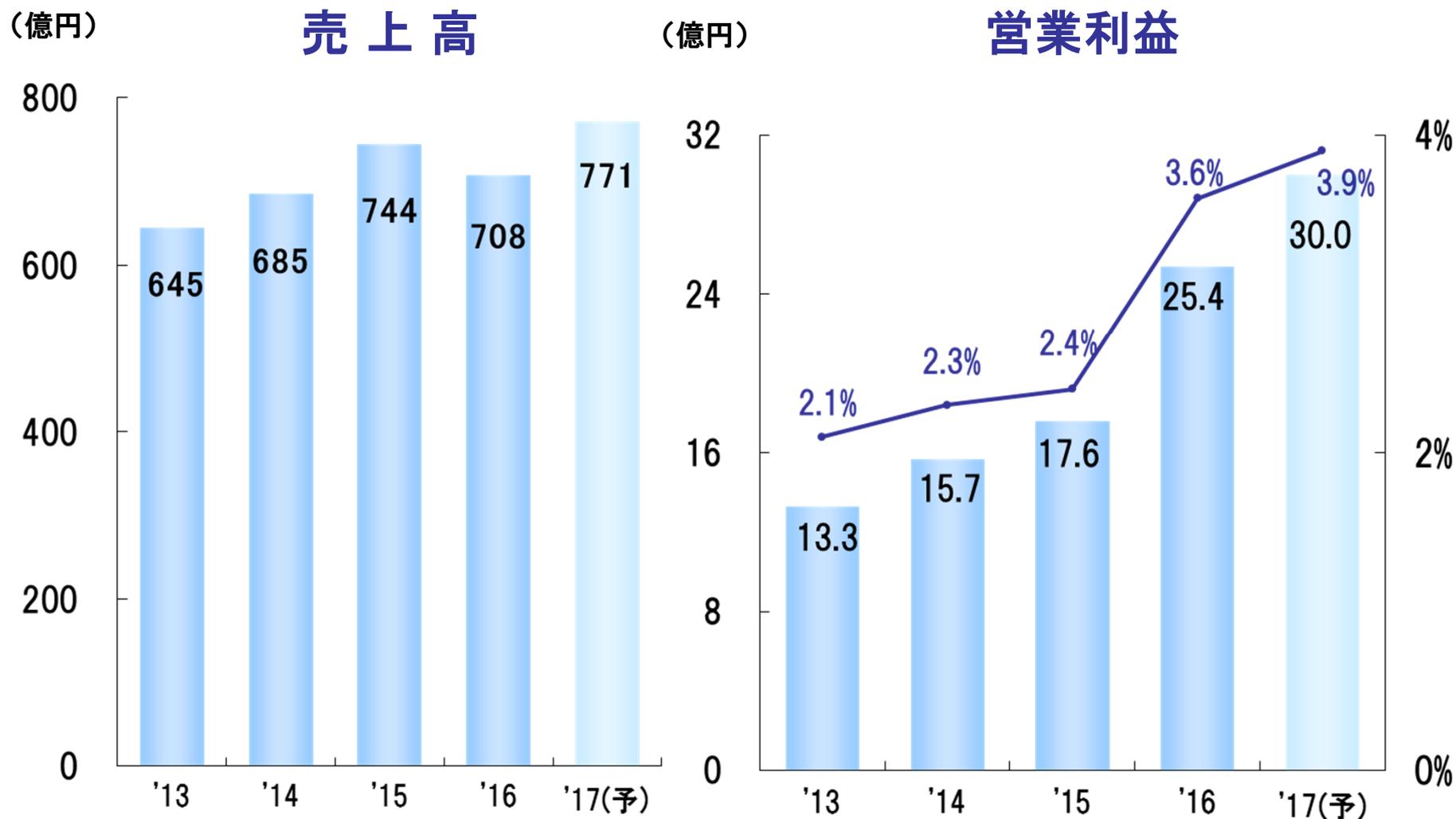


地域別売上高



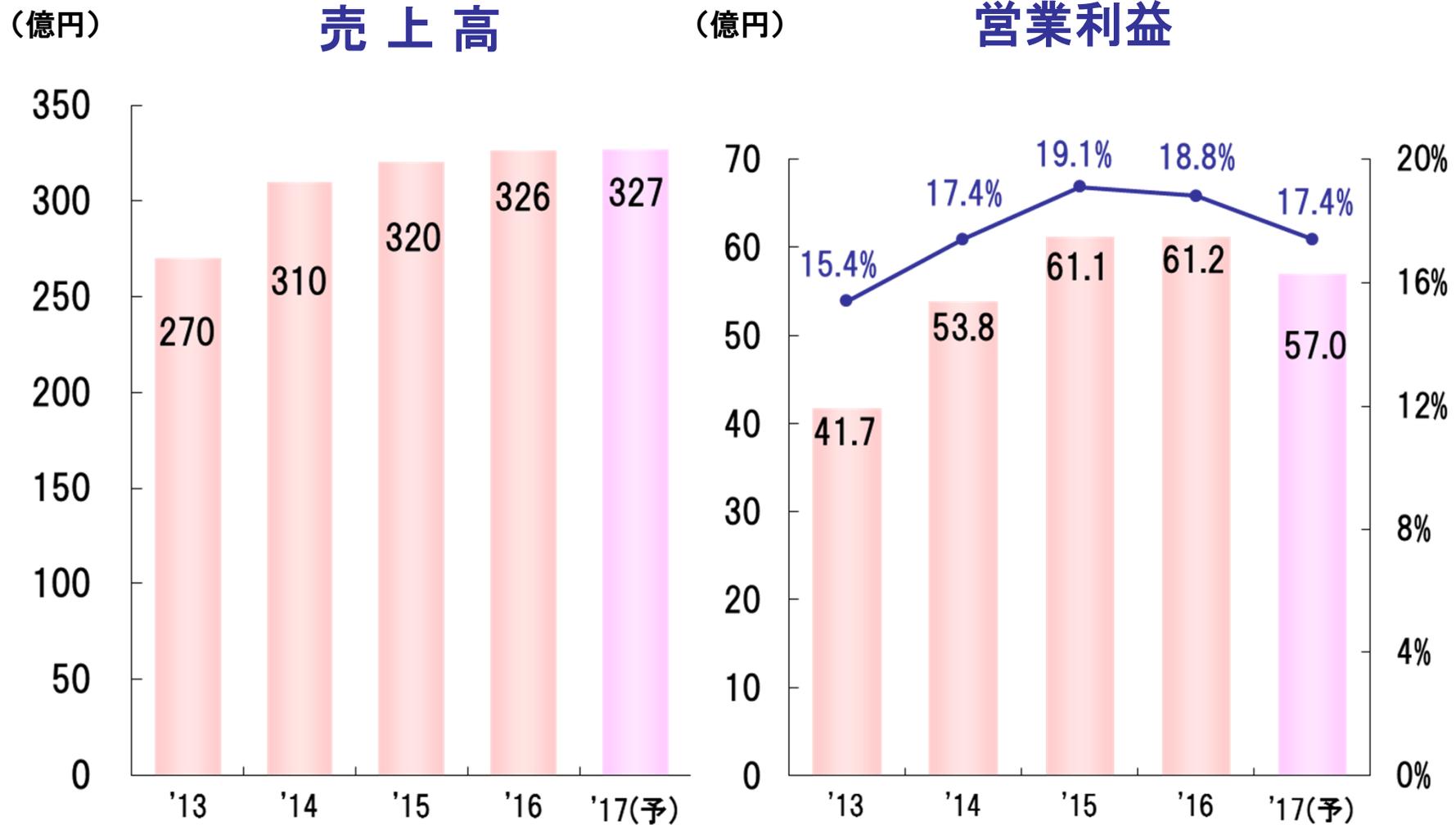
3-4 事業別セグメント: プレス樹脂製品事業¹⁴

新製品売上が寄与し増収、改善等により増益予想



3-5 事業別セグメント:バルブ製品事業

売上高は前期並み、利益は減益予想

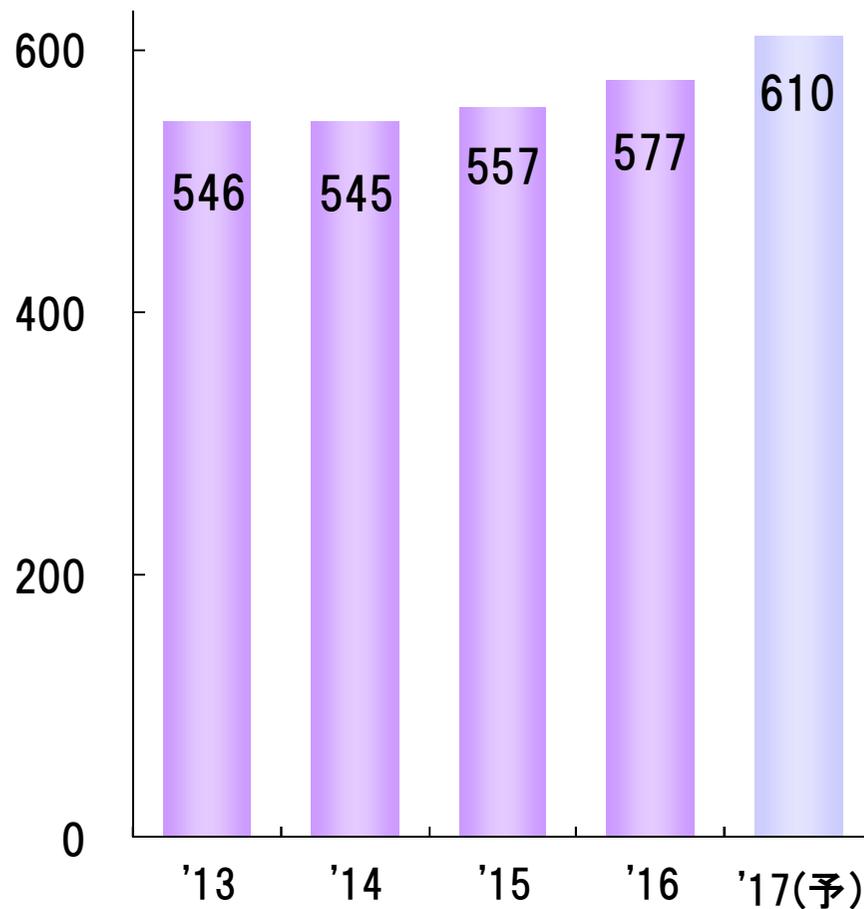


3-6 地域別セグメント：日本

プレス事業の新製品売上増加により増収増益予想

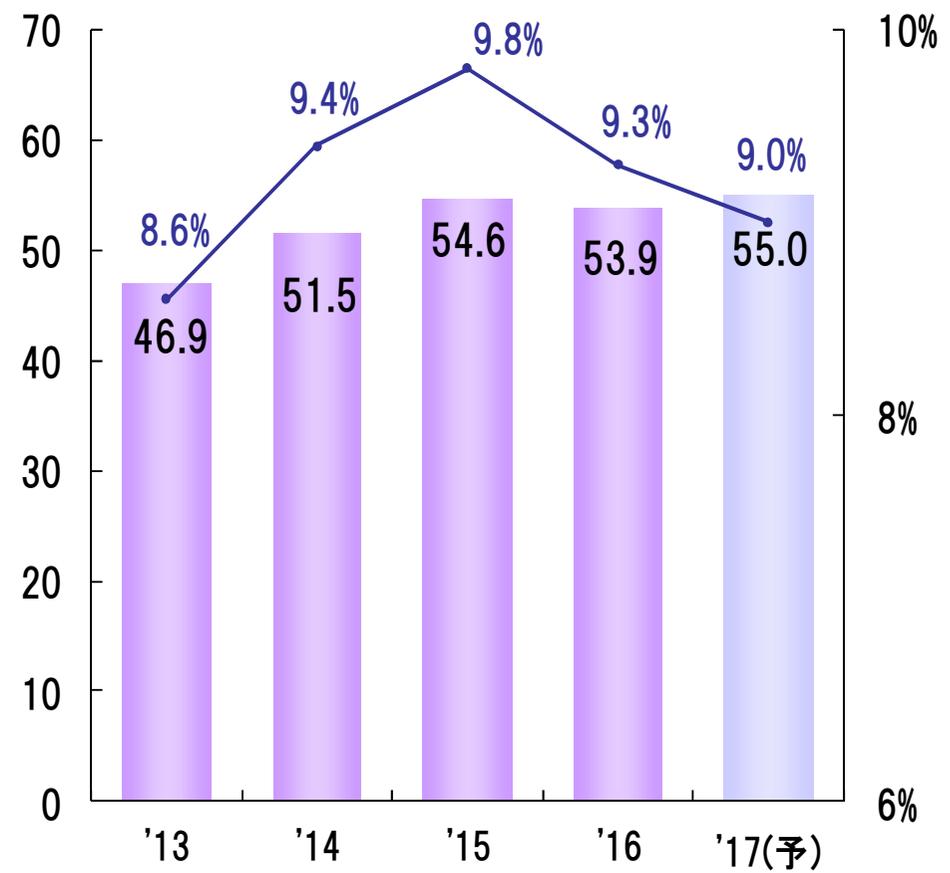
(億円)

売上高



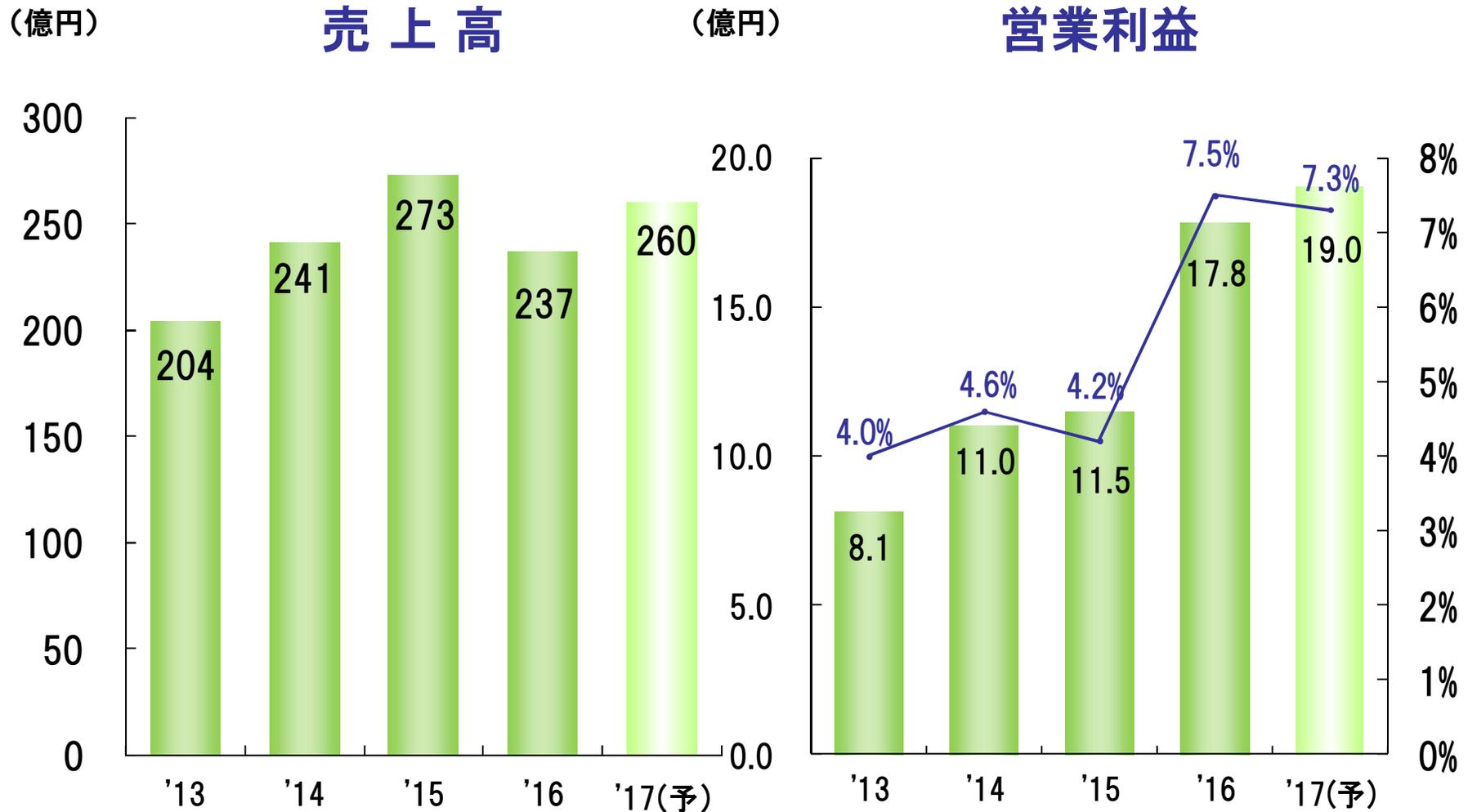
(億円)

営業利益



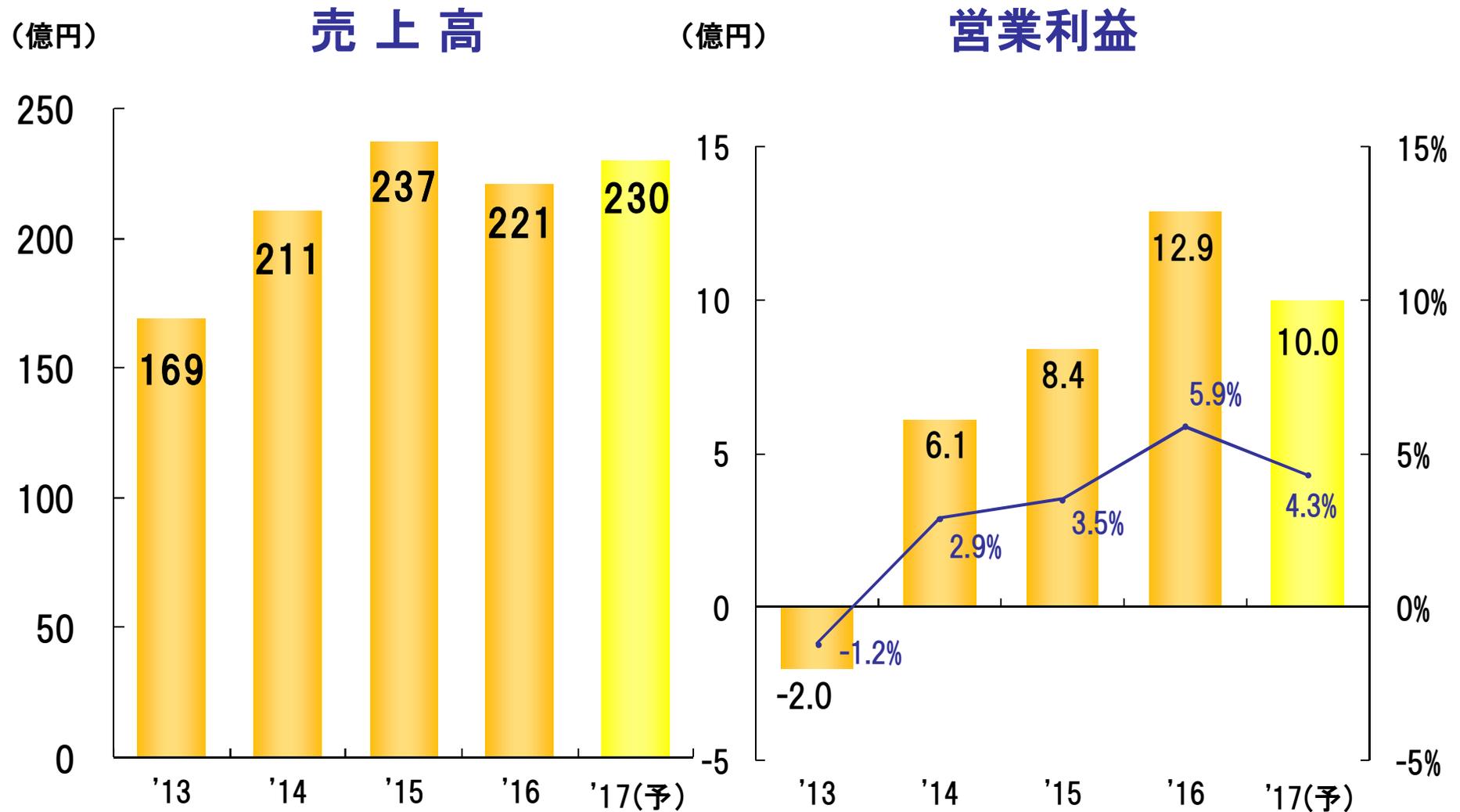
3-7 地域別セグメント:北米

新製品増加により増収、改善等により増益予想



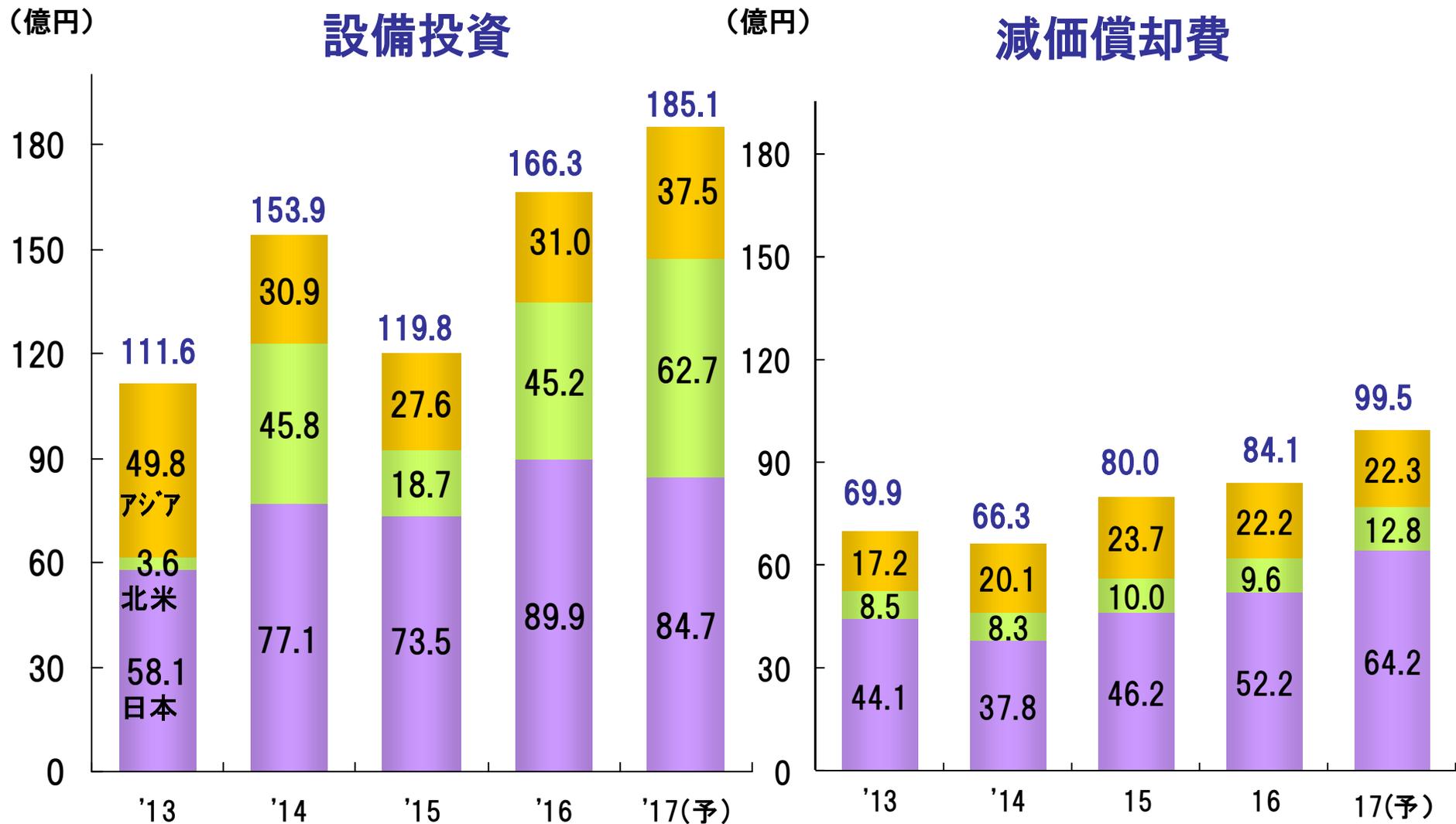
3-8 地域別セグメント:アジア

中国プレス・TPMS事業増加により増収予想



3-9 連結設備投資・減価償却費予想

戦略的な設備投資により、投資・償却費が増加予想

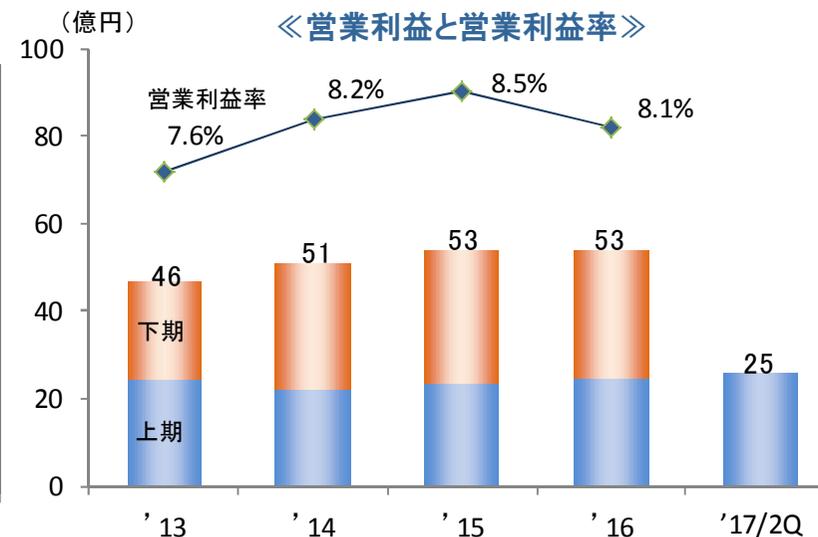


3-10 <参考> 個別業績

売上高は増収、営業利益・経常利益は過去最高

単位：百万円、%

	前第2四半期 (実績)		'16(前期) (実績)		第2四半期 (実績)		前年同期比		第2四半期累計
	売上比		売上比		売上比		増減額	増減率	
売上高	31,919	100%	66,168	100%	34,293	100%	2,374	7.4%	3期連続増収
営業利益	2,488	7.8%	5,362	8.1%	2,574	7.5%	85	3.4%	3期連続増益 過去最高
経常利益	2,803	8.8%	6,987	10.6%	3,485	10.2%	681	24.3%	2期振りの増益 過去最高
四半期(当期) 純利益	2,373	7.4%	5,414	8.2%	2,543	7.4%	169	7.2%	2期振りの増益
1株当り四半期 (当期)純利益	43.57円	-	98.55円	-	42.37円	-	△ 1.20円	-	

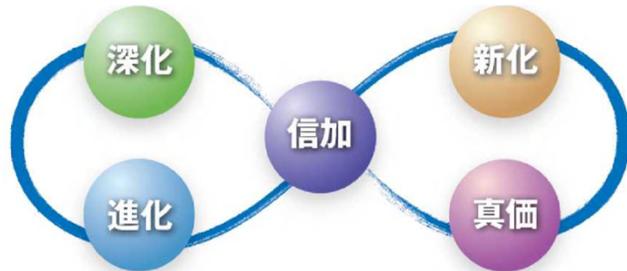


4-1 「OCEAN-18」の達成状況

’17年度に売上・利益目標の目処付けが完了

PACIFIC GLOCAL VISION 2020

- 「連結経営」から「融合経営」へ
- 5つの“シンカ”(深化・進化・新化・真価・信加)を追求する企業

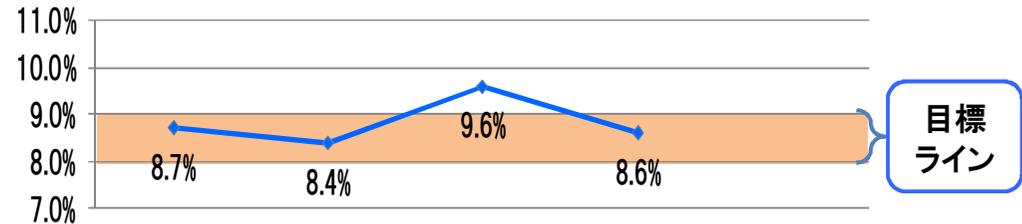


OCEAN-18 目標

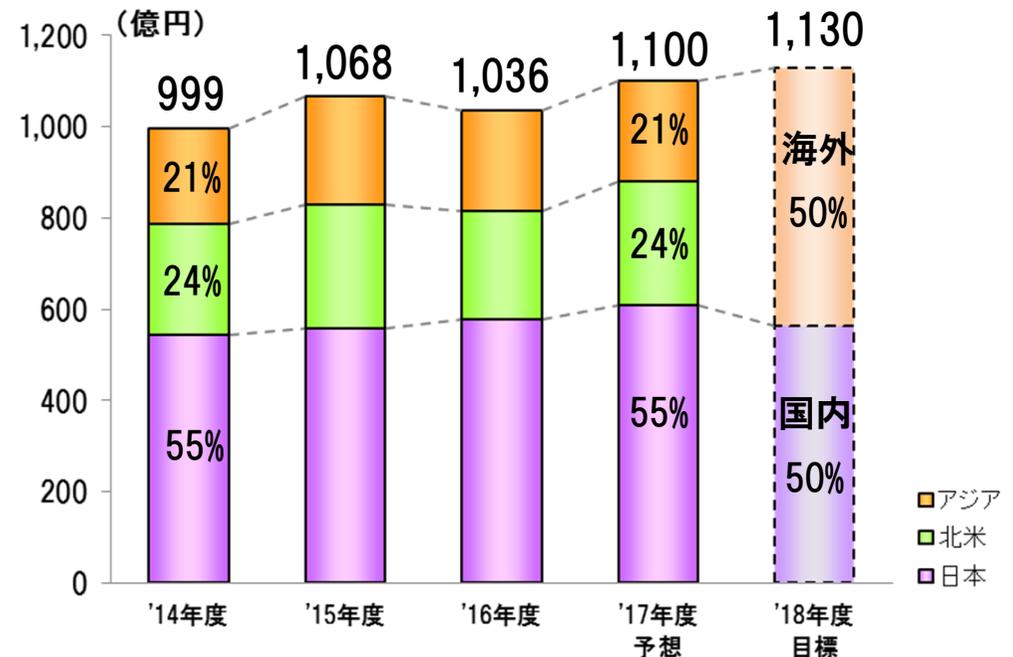
連結売上高 : 1,130億円
 連結経常利益率 : 8%台
 海外売上高比率 : 50%以上
 総資産回転率 : 1.05回転以上

為替105円/\$

経常利益率



連結売上高



4-2 新中期経営計画「OCEAN-20」

2020年度目標

連結売上高

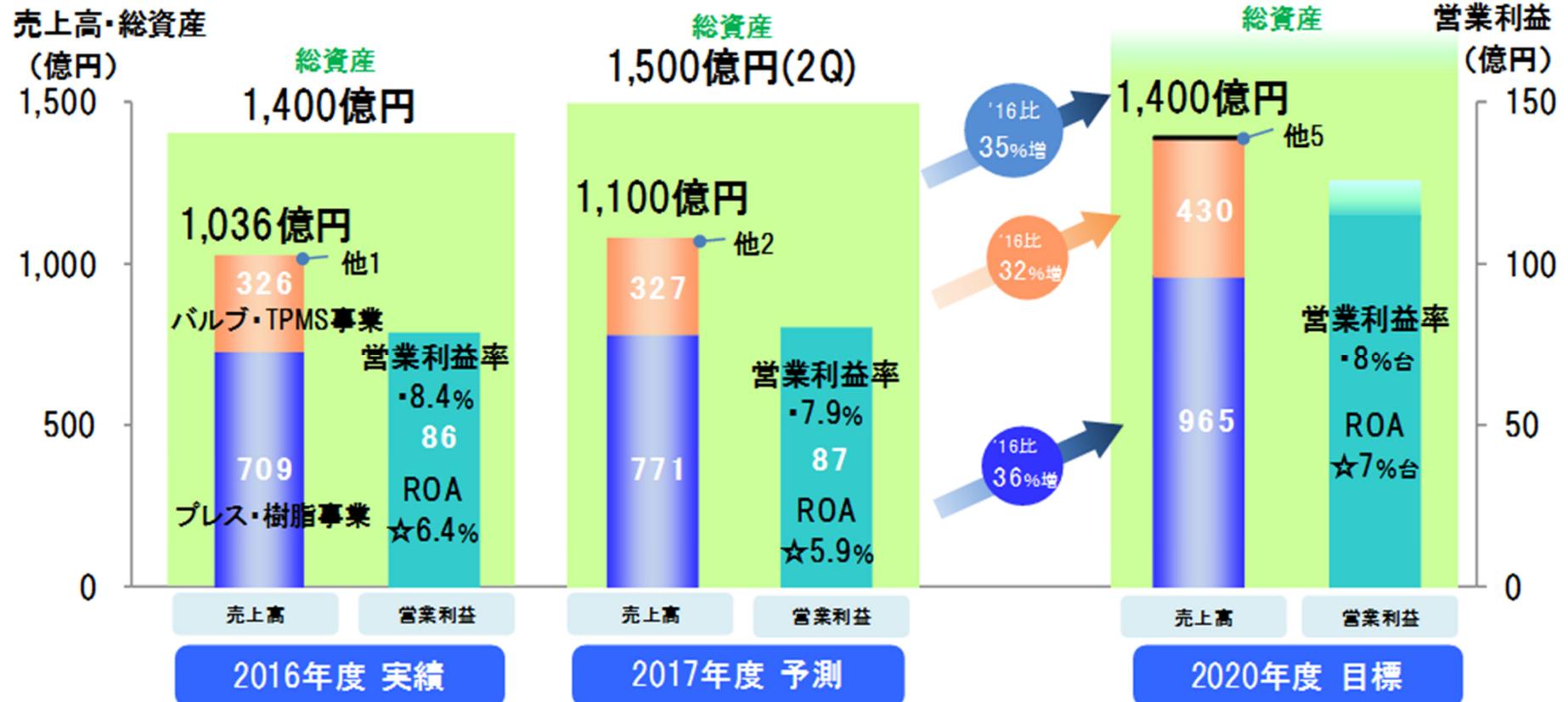
1,400億円

連結営業利益率

8%台

ROA(営業利益)

7%台



4-3 外部環境認識

100年に一度の大変革

【規制強化】

- ・安全規制
- ・環境規制

【業界動向】

- ・新興国市場拡大
- ・技術の多様化
- ・異業種参入
- ・ものづくり革新

安全性能・環境性能・快適性能の向上

電動化

- ・PHV
- ・EV
- ・FCV

知能化

- ・AI
- ・自動運転

情報化

- ・コネクテッド
- ・IoT
- ・ビッグデータ

軽量化

- ・鉄の使い切り
- ・NV性能
- ・マルチマテリアル

人とクルマ
の協調

当社方針

業界動向・顧客ニーズに応える技術開発・拠点整備

4-4 新中期経営計画「OCEAN-20」

トップクラスのGLOCALな部品メーカーをめざす



TPS…Toyota Production System CSR…Corporate Social Responsibility

4-5 新型カムリに搭載された当社の技術

太平洋工業の様々な技術が採用



【樹脂】

オールウレタン
エンジンカバー

【プレス】

摩擦攪拌接合(FSW)
アルミ製部品

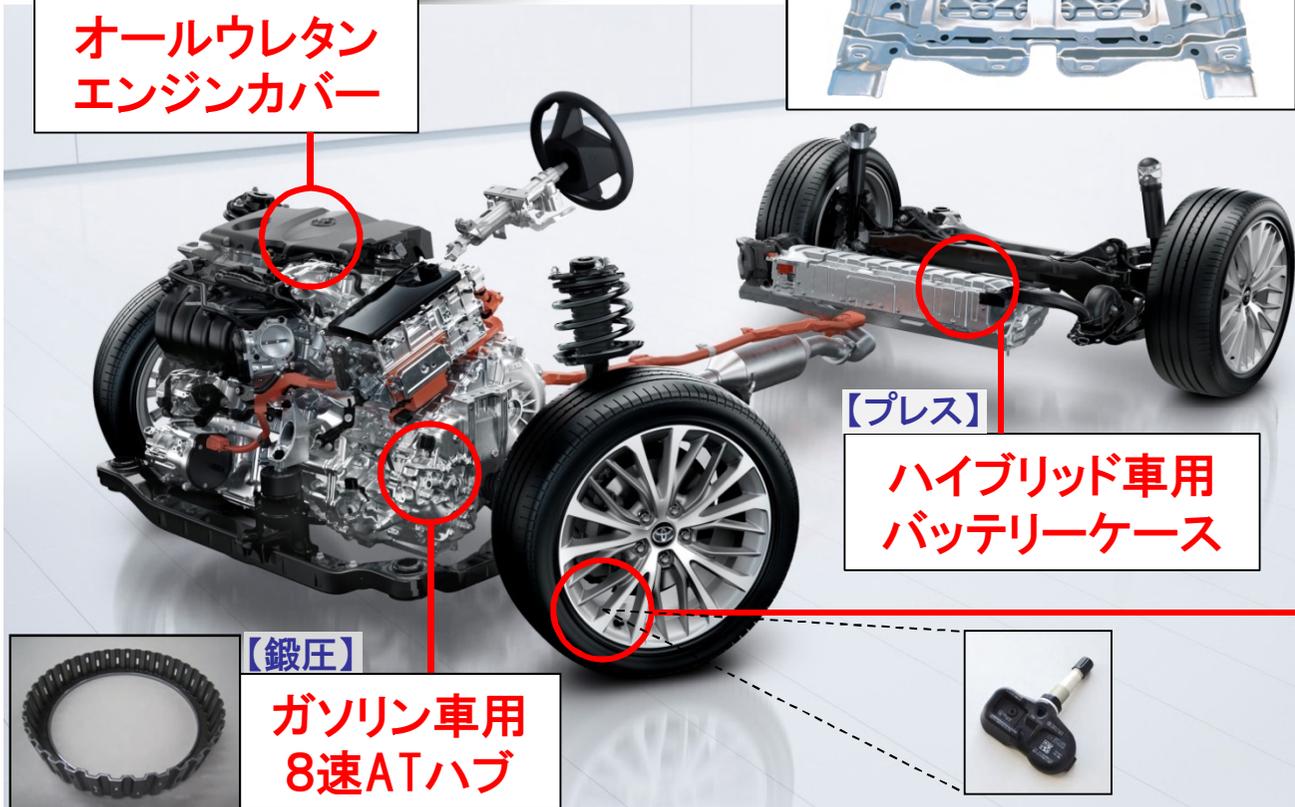


【プレス】

冷間プレス工法
超ハイテン材部品



「カムリプロジェクト表彰」受賞



【プレス】

ハイブリッド車用
バッテリーケース

【鍛圧】

ガソリン車用
8速ATハブ



【TPMS】

TPMS
(タイヤ空気圧監視システム)



4-6 プレス事業の技術変遷

軽量化にこだわった技術開発

■ 当社保有の加工技術

- ・超ハイテン材冷間プレス・ホットスタンプ・アルミ材加工技術

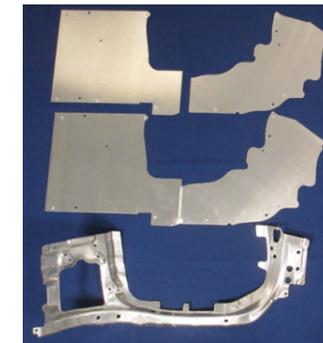
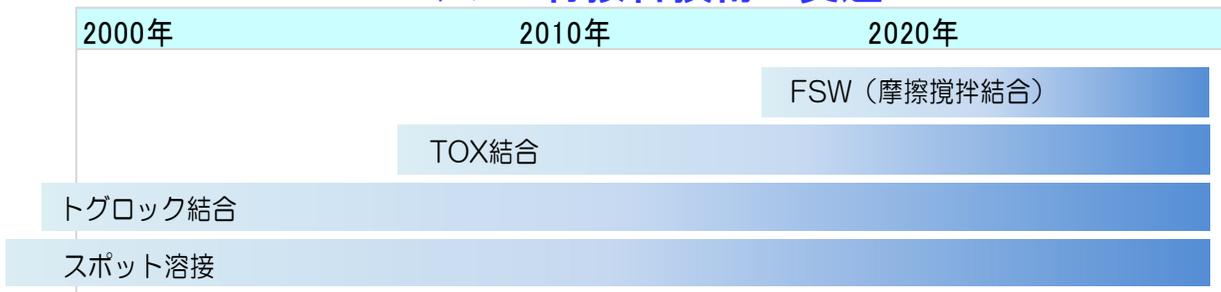
超ハイテン材プレス加工技術の変遷



超ハイテン

ハイテン

アルミ材接合技術の変遷



摩擦攪拌接合(FSW)

4-7 プレス事業の拡充

超ハイテングローバル生産体制の確立

- ・タイのプレス拠点を設立し、日本・北米・中国・アセアンの四極体制を整備

工法	導入拠点		加圧能力(t)	稼働時期
冷間プレス	日本	九州	2500	'14年2月
		大垣	3000	'14年10月
	米国	テネシー	3000	'16年5月
		オハイオ	3000	'18年4月予定
	中国	天津	2500	'14年1月
タイ	ラヨーン	3000	'19年7月予定	
ホットスタンプ	日本	大垣	500	'14年5月
		大垣	800	'16年11月
	米国	テネシー	800	'18年4月予定

- ・タイにプレス生産拠点を設立
- ・アセアン現調化ニーズ対応

商号 : Pacific Auto Parts (Thailand) Co., Ltd
 所在地 : ラヨーン県サイアムグリーンシティ工業団地内
 資本金 : 125百万タイバーツ
 出資比率 : 太平洋工業 75%、現地パートナー 25%
 設立 : 2014年11月
 生産開始 : 2019年 年央予定

4-8 樹脂事業の拡充

新素材・新工法で軽量化・機能向上

■防音・防振技術の深化によりNV性能No.1へ

- ・ウレタン発泡製品のNV性能向上により、エンジンカバー・インシュレーターへの採用拡大
- ・低騒音化・快適性向上に貢献
- ・コスト低減、軽量化を実現



オールウレタン エンジンカバー

■フィルム・加飾技術の取組み

- ・メッキ代替・深絞りフィルムの開発
- ・加飾ピース開発により軽量化・空力性能向上
- ・多様なニーズに応える加飾バリエーションの展開



セレクトダブルカラートリムホイール

■新素材加工技術への取組み

- ・CFRP等、新素材開発・成形技術の開発

4-9 TPMS製品の拡充

新製品開発と中国拠点での能力増強

■ TPMSの進化

- ・センサー技術、無線技術を進化
- ・軽量・小型・長寿命化の推進

■ 日・米・中グローバル生産・販売体制を構築

- ・欧州・韓国に販売拠点
- ・2017年度より韓国自動車メーカーへ納入開始

■ 中国生産拠点の能力増強

- ・中国常熟の拠点で1ライン生産中
- ・法制化を見据え、3ライン増設予定



スナップインタイプ

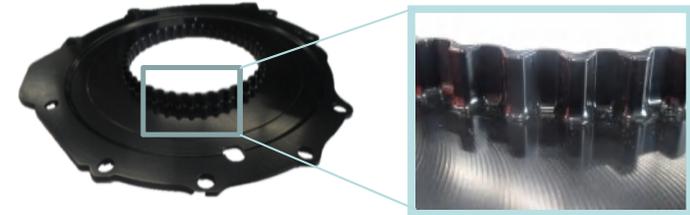
■ 各地域の法制化の動き

地域	法制化開始時期
北米	2005年10月
欧州	2012年11月
韓国	2013年1月
台湾	2014年11月
ロシア	2016年1月
中近東	2017年モデル
中国	2019年1月
日本	未定

4-10 鍛圧プレス・ダイカスト製品の拡充

2017年“超”モノづくり部品大賞『自動車部品賞』受賞

- ・2016年トヨタ「プロジェクト表彰」に続き受賞
- ・PHV車のハイブリッド機構向け部品に、
当社の鍛圧技術が採用
- ・「強度アップ」と「軽量化」を実現



PHV用スプラインプレート 歯型成形

韓国アルミダイカスト事業の生産能力増強

- ・カーエアコン用コンプレッサー部品の
一貫生産体制を構築
- ・エンジン補機部品・電動コンプレッサー部品
への品目拡大



カーエアコン用
コンプレッサー部品

4-11 IoTの活用に向けた取組み

センシング・無線技術の活用

■長年培った技術力を活かし、設備保全分野のIoT化に挑戦

- ・設備の保守・修理や故障に関する知見などの情報をデータ化
- ・設備の故障予知や診断ができる技術を実用化

■岐阜大学とスマート金型の開発を開始

- ・金型内の温度や圧力などの変化をセンシング技術で情報収集する金型IoTプラットフォームを構築
- ・集めたデータを解析し、不良の原因解明と制御方法を開発

4-12 100年企業をめざして

PACIFIC VALUES



私たちの心構え



【夢と挑戦】

- ・常に夢(目標)を持ち、失敗を恐れず挑戦する。
- ・失敗しても次の夢への糧にし、その夢を追い続ける。

【信頼と感謝】

- ・「和」を大切にし、常に相手の立場に立って考える。
- ・自然に「ありがとう」という言葉が生まれる風土をつくる。

企業価値向上の取組み

